



芝山町長 麻生 孝之

町制70周年、節目の年 まちづくりを空港機能強化とともに

新年明けましておめでとうございませう。町民の皆さまにおかれましては、健やかに輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年もよろしくお願いたします。

さて、昨年を振り返りますと、年明け早々に能登半島地震が発生し多くの方々が被災され、現在でも避難生活を強いられる方がいらつやいます。芝山町からも石川県志賀町へ人的支援を行うため、昨年10月から12月まで職員1名を派遣してまいりました。私も現地に足を運び、地元の方や復旧復興に携わっている職員の方と情報交換をしましたが、最低限生活に必要なインフラの復旧は

済んでいるようでしたが、復興についてはこれからという印象を受けました。輪島市は、夏の豪雨災害で更にダメージを受け復旧もままならないと伺いました。いつ起きるかわからない地震や、気候変動による豪雨災害等に対応するため、防災・災害対策にしっかりと取り組み、安心安全なまちづくりをさらに進めてまいります。

昨年の7月1日には、鹿児島県奄美市と「空港で結ぶ友好都市」の協定を締結しました。平成26年7月の格安航空の就航を契機に10年間で中学生の自然体験、はにわ祭り、各種イベントなど交流を深めてまいりました。成田空港を利用して今後も更に交流を活発

に行い、多くの皆さんに行き来しでもらえる事を期待いたします。成田空港においては、同じく7月に旅客ターミナルや物流機能の集約などを盛り込んだ「新しい成田空港構想」とりまとめ2.0が発表され、旅客ターミナル、貨物施設、空港アクセス、地域共生、まちづくりの4項目について目指すべき方向性が示されました。引き続き、空港の施設整備が芝山町にとってプラスの効果を十分に享受できるよう努めてまいります。

まちづくりも順調に進んでおり、川津場地区の移転代替地も完成して譲渡が始まっております。隣接する住宅拠点整備も来年度中には住宅建設に着手できる予定です。千代田地区は、空港のワンターミナル化を視野に入れ空港会社と引き続き協議を進め、更には民間活力も活用し地域にメリットがあ

謹んで新しい年の初めをお慶び申し上げ、穏やかな年明けに感謝いたします。

旧年中は、町議会の活動に対し多くのご協力とご支援を賜り、衷心より御礼申し上げます。

本年、芝山町は町制70年を迎える節目の年です。70年の軌跡は芝山町の盤石の基礎を築きあげ、未来への礎になっていきます。その象徴の一つが、みなさまの記憶にも新しい、昨年、国の重要文化財指定を受けた「はにわ」の存在です。奇しくも同年、東京国立博物館において催された特別展にも当町のはにわが展示されました。一朝一夕には成しえず、今に繋いできた尽力への栄華であると感じております。今に繋ぐということ、忍耐と努力が必要です。つま

対話と改革で飛躍の年へ

り、芝山町は潜在的に、また顕在的にその素養を持ち合わせており、これを大きな力に変えようことができると思っております。本年、芝山町議会の重要案件の一つに議会改革が挙げられます。昨年2月に町議会議員選挙が行われ、現在の議会を形成しておりますが、2度の無投票当選でした。全国においても無投票当選、定員割れの地方議会は、1800余りの市町村の3分の1で、深刻な問題です。その背景には数々の問題があります。これを一つずつ明らかにし、解決策を導き出すことは成すべき課題であると思っております。議会は行政の政策及び政策展開が適切であるか監視・誘導し、審査する議事機関であり、追認

機関ではありません。芝山町の意思決定は議会にあります。このことを議員一人ひとりが強く意識することは極めて重要なことであり、これを監視・審査するのは町民の皆様なのです。町民と議員は近い間柄にあり、「町民の満足度」議会と行政への評価であることを議会も議員個人も肝に銘じなければなりません。議員各々が町民のみならず、議論し、解決に導くことこそが、町民の満足度に繋がります。存在意義になると考えます。本年は60年に1回訪れる「乙巳(きのとみ)」です。成長と再生を意味する両者が重なるこの1年が、町民の皆様と芝山町に大きな喜びと幸せをもたらしますように祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



芝山町議会議長 伊橋 寿夫

CONTENTS

- 2……新年挨拶
- 4……確定申告
- 6……しばやまイベントレポート
- 9……しばやまスポーツニュース
- 10……英会話イベント
- 12……町からのお知らせ

- 20……くらしの広場
- 24……町の10大ニュース

1月の納期	納付期限 1月31日(金)
町県民税	4期
国民健康保険税	7期
介護保険料	7期
後期高齢者医療保険料	7期
納税は便利な口座振替で!	

るまちづくりを検討していきます。小池地区は、来年度中に土地区画整理事業の認可取得に入ります。簡易水道事業は、浄水場施設の整備に取り掛かり、管路整備においては先ずは菱田地区方面に向かつて引き続き工事を進めてまいります。公共交通事業は、あいあいタクシーが4月から成田国際医療福祉大学病院への乗り入れが開始します。中長期的な施策も、少しずつではありますが前に進んでおります。しかし、日々、目の前にある課題もございませう。「一つ一つ丁寧」を常に心掛け、安心して暮らせる町政運営を職員一丸となって取り組んでまいります。さらに、本年、芝山町は町制施行70周年を迎え、4月より記念事業も予定しております。本町の発展のためにご尽力をされた方々に対し、心から敬意を表し感謝を申し上げます。同時に、皆様とお祝いできることを楽しみにしております。結びに令和7年が実り多き1年となるよう願うとともに、皆さまの幸せと芝山町の明るい未来を祈念して、新年の挨拶とさせていただきます。

January.2025 No.605 睦月 1

「広報しばやま」は、新聞折込みにて配布しております。